

# 「知って、関わって、好きになる」 100周年からはじまる「あたらしい川崎」へ

今から100年前、人口約5万人から始まった川崎市は、様々な地域から多くの人に移り住み、大きく発展を遂げました。現在では約155万人の方々が暮らし、今なお人口が増加している元気な都市に成長しました。

そのような中、川崎市は、令和6(2024)年7月1日に市制100周年を迎えました。

「Colors,Future! いろいろって、未来。」をブランドメッセージとして掲げてきた川崎市は、多くの人が行き交い、多様な文化が根付き、新しいものに寛容な風土がもたらした「多様性」こそが発展の源泉となっています。多様性を認め合い、可能性を育み、新たな価値が生み出されていくまちへ、この市制100周年という歴史的な節目を「あたらしい川崎」を生み出していくスタートラインとしています。

100周年事業では「Colors,Future!Actions」をロゴマークに、様々な主体が自分の強みや特徴を重ね合わせて、あたらしい活動や行動を起こしています。行政だけではなく、川崎市にゆかりのある390を超える企業・団体が構成される実行委員会、また多くの市民の方々にも参加していただきながら、年間を通じて、多様で多彩な記念事業を展開しています。

6・7月には約400人の市民を集めた混声合唱や市内の音楽大学などプロアマが一体となった混成オーケストラ

に彩られた「記念式典」、川崎市ゆかりのアーティストによる野外フェスにブルーインパルスが飛来する「かわさき飛躍祭」などの100周年を祝うイベントが開催されました。今秋には、市役所前の広い道路を歩行者空間として公共空間の新しい利活用にチャレンジする「みんなの川崎祭」や、川崎市の未来を考えるトークセッションなどを組み合わせた「Colors, Future!Summit」など、多様な主体との共創により様々なアクションを起こしていく予定です。

さらに、今秋と来春に開催する「第41回全国都市緑化かわさきフェア」では、川崎らしい都市の中のみどりの価値を全国に発信するとともに、市民の日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、みどりを通して、人と人、人と暮らしがつながる、心豊かな暮らしの創出を目指しています。

市制100周年を機に、多くの方々に、あらためて「川崎を知って、関わって、好きになってもらえる」よう、市民・企業・団体、そして行政のつながりを深め、まちに関わり、盛り上げる多くの方々とともに、将来にわたって持続的に発展し、多様性があふれる「あたらしい川崎」を生み出していくことを目指しています。

COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th



記念事業ロゴマーク



Colors, Future! Summit 2023の様子



第1回「みんなの川崎祭」の様子